

Specification

UDP-205		
Dolby Vision		○
画像処理エンジン		MediaTek OP8591 (カスタム仕様)
対応ディスク*		UHD ブルーレイ、ブルーレイ、ブルーレイ 3D、DVD ビデオ、DVD オーディオ、AVCHD、SACD、CD、Kodak ピクチャー CD、CD-R/RW、DVD±R/RW、DVD±R DL、BD-R/RE
対応メディアコンテナとファイル形式**		3GP、AAC (Advanced Audio Coding)、APE (Monkey's Audio)、AIFF、ASF (Advanced Systems Format)、AVCHD、AVI (Audio Video Interleave)、BDMV、DSDIFF、DSF、FLAC (Free Lossless Audio Codec)、FLV (Flash Video)、GIF、JPG、M2TS (BD-REAV MPEG-2 Transport Stream)、M4A (MP4 に同じ)、M4V (MP4 に同じ)、MKV (Matroska、.mkv と .mka の両方)、MP3 (MPEG-1 Audio Layer 3)、MP4、MPG (MPEG-1)、MOV (Quicktime)、MPO (Multi Picture Object)、OGG、OGM、PNG、TS (Transport Stream)、VOB (Video Object)、WAV (24 bit まで)、WMA (Windows Media Audio) (WMA Pro、ロスレスまたはボイス非対応)、WMV (Windows Media Video)
対応 DSD ファイル形式		DSDIFF (22.6MHz、11.2MHz、5.6MHz、2.8MHz)、DSF (22.6MHz、11.2MHz、5.6MHz、2.8MHz)
BD プロファイル		BD-ROM Version 3.1 Profile 6 (および BD-ROM Version 2.5 Profile 5)
HDMI出力	映像フォーマット	UHD/1080p24/1080p/1080i/720p/576p/576i/480p/480i、3D フレームパッキング 720p/1080p24 (フレームレート変換機能なし)
	音声フォーマット	7.1ch/192kHz までの PCM、5.1ch までの DSD、ビットストリーム
	端子	2 系統 / Main 1 系統 (HDMI2.0)、Audio only 1 系統 (HDMI1.4)
音声出力	DAコンバーター	ESS Technology ES9038PRO x2
	アナログRCA出力	7.1ch (最大)
	アナログXLR出力	ステレオ
	デジタル出力	同軸および光 : 2ch/192kHz までの PCM、Dolby Digital、DTS
ヘッドホン出力		6.3mm 1 系統
HDMI入力	映像フォーマット	UHD/1080p24/1080p/1080i/720p/576p/576i/480p/480i、3D フレームパッキング 1080p24/720p
	音声フォーマット	7.1ch/192kHz までの PCM、5.1ch までの DSD、ビットストリーム
USB入力	リア	1 系統
	フロント	1 系統 (USB2.0 A 端子)
	リア	2 系統 (USB3.0 A 端子)
音声フォーマット		7.1ch/24bit/192kHz までの PCM、5.1ch/1bit/5.6MHz までの DSD
USB DAC 入力	USB B端子	PCM 2ch/768kHz まで、DSD 22.6MHz までの DSD (ネイティブ再生時)、11.2MHz までの DSD (DoP 再生時)
デジタル入力	同軸および光	PCM 2ch/192kHz まで、2.8MHz DSD (DoP)、Dolby Digital、DTS、AAC。
LAN 入力	RJ-45	1 系統
シリアル入力	RS-232C	1 系統
トリガー入出力	入力 : 1 系統 出力 : 1 系統 (各 3.5 mmモノ)	
オーディオ特性*** (ステレオアナログオーディオ出力)	周波数特性 SN比 THD+N 出力レベル ダイナミックレンジ クロストーク	: 20Hz ~ 160kHz (-3dB/+0.05dB) : > 120dB : < 0.00018% : (RCA) 2.1±0.2Vrms、(XLR) 4.2±0.4Vrms : > 120dB : < -118dB
オーディオ特性*** (マルチチャンネルアナログオーディオ出力)	周波数特性 SN比 THD+N 出力レベル ダイナミックレンジ クロストーク	: 20Hz ~ 160kHz (-3dB/+0.05dB) : > 120dB : < 0.00031% : 2.1±0.2Vrms : > 120dB : < -118dB
ヘッドホン出力 オーディオ特性***	周波数特性 SN比 THD+N 最大出力 ダイナミックレンジ 出力インピーダンス	: 20Hz ~ 80kHz (-2dB/+0.05dB) 32Ω負荷 : > 105dB 32Ω負荷 : < 0.01% 32Ω負荷 and 50mW : 590mW 32Ω負荷 : > 115dB 32Ω負荷 : < 0.1ohm
電源電圧		AC 100V、50/60Hz
消費電力		65W (スタンバイ時 : 0.5W 省エネモード)
外形寸法 (W/D/H mm)		430mm x 311mm x 123mm
重量 (kg)		10kg
動作温度		5℃~35℃
動作湿度		15%~75% (結露なきこと)



* ユーザーがエンコードしたコンテンツやユーザーが作成したディスクとの互換性について、確実な再生を保証するものではありません。
** 2017年7月時点、各種メディアコンテナおよびファイルの再生機能について、確実な再生を保証するものではありません。各コンテナ形式においてH.265/VP9/H.10Pに対応しますが、UHD Blu-ray規格に準拠しないHDR形式で作成されたファイルの再生などには対応いたしません。
*** 公称仕様
Dolby、ドルビー、およびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの登録商標です。
DTS および記号は DTS 社の登録商標であり、また DTS のロゴは DTS 社の商標です。
ASIO は Steinberg Media Technologies GmbH のソフトウェアであり登録商標です。
"DSD", "DSD Disc Format" は ソニー株式会社の商標です。
Blu-ray Disc™、Blu-ray™ 及びその関連のロゴは、ブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
Android、Google Play および Google Play ロゴは、Google Inc. の商標または登録商標です。
Macintosh、iMac、Mac OS、AirPlay、iPad、iPod、iPod touch および iTunes は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
DLNA®、DLNA ロゴおよび DLNA CERTIFIED® は、Digital Living Network Alliance の商標、サービスマークまたは認証マークです。
本カタログに記載されている商品名・サービス名・規格名その他の名称は、一般に各社の商標または登録商標です。

本カタログに記載されている内容は2017年7月時点のものであり、設計や仕様は予告なく変更されることがあります。
OPPO Digital Japan 株式会社は、本カタログに記載されている内容につき、ご利用頂いた皆様に対し、完全性、正確性、確実性、有用性等につき、いかなる保証も行わないものとし、本カタログの利用により生じた結果に対する一切の責任を負うものではありません。

OPPO Digital Japan株式会社 webページ

www.oppodigital.jp/

OPPO製品に関するお問い合わせはメールフォームよりお問い合わせください

www.oppodigital.jp/contact/

総輸入元・販売元 OPPO Digital Japan株式会社

〒107-0062 東京都港区南青山2丁目11番13号

0570-050-260

FAX: 03-6779-5481

oppo

ULTRA HD™
Blu-ray
DOLBY VISION™



UDP-205

4K Ultra HD Audiophile Blu-ray Disc Player

究極の、オーディオファイル・グレード4K Ultra HD Blu-ray ディスクプレーヤー

UDP-205は、ホームシアター・エンターテインメントのための比類なきオーディオ・ビジュアル体験を提供する、4K UHD Blu-rayディスクプレーヤーです。10年に渡ってOPPO Digitalが培ってきた先進的な映像処理と高忠実な音声再生のための経験と技術を結集し開発されたUDP-205は、最新のホームシアター／オーディオシステム構築に理想的なソース・コンポーネントとして誕生しました。UDP-205は、優れた審美眼を持つ愛好家にとってまさに完璧な選択となることでしょう。



UDP-205

4K Ultra HD Audiophile Blu-ray Disc Player

型番:OPP-UDP205JP 価格:オープン価格



ビデオプレーヤー部門(2)
〈10万円以上〉 1位

VGP2017 SUMMER
최종예상

Ultra HDブルーレイプレーヤー
(15万円以上) 部門 金賞

USB DAC (USB 2.0)	デジタル入力端子 (同軸/光)	Hi-Res PCM (~32bit/768kHz)	2ch専用アナログ出力 (RCA/XLR)	HDMIオーディオ ジッター・リダクション回路	ヘッドホンアンプ 出力	ダブルレイヤー レインフォースドジャージ	トロイダルコア トランス
Ultra HD Blu-ray	HDR10	Dolby Vision*	HDR→SDR 変換	BT.2020	Blu-ray/Blu-ray 3D	DVD Video/Audio	SACD
CD	クロマアップサンプリング 4:4:4 (max)**	Deep Color 12bit (max)**	4kアップスケーリング	2D→3D変換	Dual HDMI (Main, Audio only)	HDMI入力端子 (HDMI2.0, 4k)***	ES9038PROx2 32bit/8ch DAC
7.1chアナログ出力	DSD ~22.6MHz****	Dolby TrueHD	dts-HD Master Audio	Dolby Atmos/DTS:X パススルー	Wi-Fi内蔵	LAN端子 (ギガビット対応)	USB A 端子 (USB 3.0/2.0)

* 出荷時期によりファームウェアアップデート対応 ** HDMI2.0の伝送帯域18Gbpsと接続するTVの能力により制限 *** 4k+HDRには2017年6月現在非対応 **** USB DAC入力、ネイティブ時

新世代HDR技術「Dolby Vision」に対応

UDP-205は米ドルビーラボラトリーズが開発した新世代HDR技術「Dolby Vision (ドルビービジョン)」に対応します。「Dolby Vision」は従来のテレビ画面では体験することのできなかった、印象的なハイライト、鮮やかな色彩、沈み込む黒を再現し、TVでの視聴体験を革新します。Dolby Visionは本製品とDolby Vision対応ディスプレイ機器との組み合わせでお楽しみいただけます。

Dolby Visionとは

Dolby Visionは、従来規格と比べダイナミックレンジや色域、階調を大幅に拡張することで、これまで実現することが困難であった新たな映像表現を可能とし、クリエイターが意図した通りの映像品質をエンドユーザーに届けるために開発されました。

Dolby Visionは色深度を最大12bitまで拡張することで、より高い輝度情報と広大なコントラスト情報を再現することが可能となっただけでなく、「Dynamic Metadata」と呼ばれるフレーム単位でダイナミックレンジを制御することが可能な仕組みにより、シーン毎のダイナミックレンジの最適化を実現し、さらに忠実度の高い映像表現を可能としています。

SDR (Standard Dynamic Range)とは

これまでの研究により、人間の目が動画として認識可能な輝度レンジは最低0.001nits～最大20000nits以上であることがわかっており、実際に、自然光の下にある花のハイライトは約15000nits、蛍光灯は約6000nits、室内の床の暗がりでは0.08nitsと、実世界の輝度情報は広帯域に渡っています。しかし、これまで映像制作物の輝度レンジについてはブラウン管時代に策定された規格(最高輝度100nits)から変更されることなく、高解像度化が実現した現在でも、狭い輝度レンジ・色深度・色空間のなかに、実世界の情報を大幅に圧縮して収録する必要がありました。例えばBlu-rayディスクにおいては、輝度レンジが最低0.117nits～最大100nitsとされ、色深度も8bitまでという制約がありました。

HDR (High Dynamic Range)とは

これに対し、Dolby Visionおよびその基盤技術となる「HDR (High Dynamic Range)」では、輝度レンジを大幅に拡張することで、より現実に近い映像表現を可能としています。

UHD Blu-rayが対応するHDR10規格では、輝度レンジについて最低0.005nits～最大10000nitsと大幅な広帯域化を実現しました。これは、ドルビーラボラトリーズ社の研究に基づく「PQ (Perceptual Quantizer / 知覚量子化) カーブ」をベースにしたもので、人間の知覚特性を踏まえた、より自然な表現を可能としました。

Dolby Visionの特長

そして、HDR10規格以上のさらなる高画質を実現するために規格化されたのが「Dolby Vision」です。

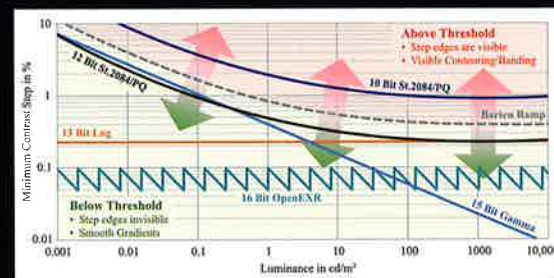
Dolby VisionはHDR10同様最大10000nitsの輝度およびPQカーブをサポートするだけでなく、色深度についてもHDR10の4倍の階調表現を可能とする最高12bitに対応することで、HDR10以上の性能を実現しています。

また、Dolby Visionはフレーム単位でメタデータを持たせることで、シーンごとの平均輝度やピーク輝度といった輝度設定を動的に変化させることを可能とした「Dynamic Metadata」機能を採用しています。本機能により各シーンで最適な輝度レンジを割り当てることで、メタデータを受け取った対応ディスプレイは自身の輝度性能に応じた最適なマッピング処理を行います。

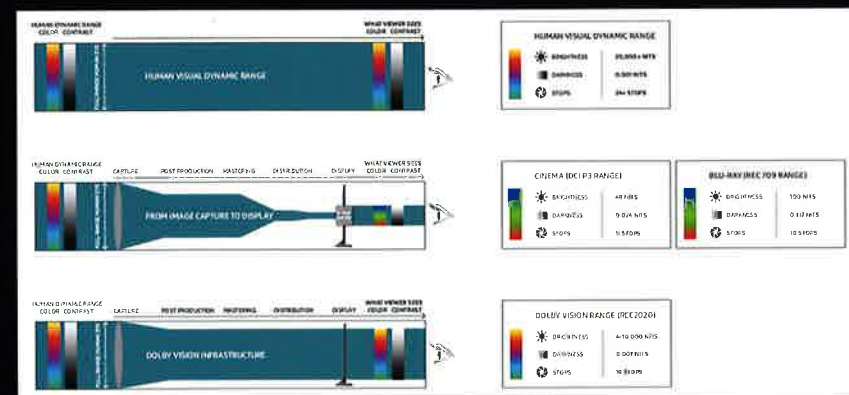
これらの技術によって、Dolby Visionは製作者意図（ディレクターズ・インテント）をより忠実に維持し、緻密なディテール、自然なコントラストと鮮やかな色彩を実現します。

従来技術とDolby Visionとの比較

媒体	映像形式	階調(色深度)	色域	最大輝度	伝達関数	ストリーム構造
Blu-ray	SDR	8bit	BT.709	100nits	BT.709(ガンマカーブ)	—
UHD BD	HDR10	10bit	BT.2020	10000nits	ST 2084 (PQカーブ)	Single layer
UHD BD	Dolby Vision	10bit/12bit	BT.2020	10000nits	ST 2084 (PQカーブ)	Dual layer + Dynamic Metadata



PQカーブのイメージ図。灰色の点線を「バーテン曲線」と呼び、これより粗いステップ(赤い領域)では疑似輪郭(バンディング)が強く発生します。HDR10は色深度10bitのため疑似輪郭の発生は避けられませんが、暗部にも多くの階調を割り当てることで知覚されにくい仕組みを採用しています。色深度12bitに対応するDolby Visionは、バーテン曲線を超える特性により優れた色階調を実現することができます。(画像提供:Dolby Japan(株))



製作された映像作品が人間の目で知覚されるまでのイメージ図。上から順に、人間が自然に知覚している領域、SDR映像がカバーする領域、Dolby Vision映像がカバーする領域を示しています。Dolby Visionは一貫した映像プロセスにより、人間の目が知覚する色域に近づけた表現かを可能としました。(画像提供: Dolby Japan(株))

アドバンスト・イメージ・プロセッシング・テクノロジー

カスタム仕様のMediaTek製クアッド・コア・プロセッサ「OP8591」を搭載

UDP-205はOPPO Digitalが長い年月をかけて培ってきた高品位な映像・音声再生のための最新技術を惜しみなく投入した製品です。システム・コントロール基板のSoCにはカスタム仕様のMediaTek製クアッド・コア・プロセッサ「OP8591」を搭載。極めて強力な性能を持つ「OP8591」のビデオデコーダー／プロセッサの最も先進的な映像デコーディング／プロセッシング技術は、4K UHD Blu-rayディスクの他あらゆるメディアで最適化され、最高レベルの高い再生品位を実現します。

4KウルトラHD対応

UDP-205は従来のフルHD規格Blu-rayディスクの4倍の画素数となる4K (3,840×2,160画素)解像度の次世代ブルーレイディスク規格「Ultra HD Blu-ray」に対応するほか、4Kメディアファイルの再生に対応します。また、最新の圧縮技術MPEG HEVC (H.265)に対応するだけでなく、VP9 4KおよびH10Pといった最新のビデオ・コーデックにも対応するなど、4K解像度のデータが再生可能です。

ハイ・ダイナミックレンジ技術「HDR」と広色域規格「BT.2020」に対応

4K UHD規格で重要な要素が最大1,000～10,000nitの高輝度によるハイ・ダイナミックレンジ技術「HDR」および従来比2倍の広色域規格「BT.2020」です。UDP-205は従来のBlu-rayディスクプレーヤーと比べ、高い解像度、さらに改善されたコントラスト、広いダイナミックレンジと色域を実現し、より自然でまるで現実のような圧倒的な映像品質をもたらします。

HDR to SDR変換機能

UDP-205はHDR10規格に準拠したディスクおよびファイルに対応するだけでなく、HDR to SDR変換機能により、HDRに対応しないディスプレイ機器でも最適な変換処理を行うことも可能です。

4Kアップスケーリング機能

UDP-205は、あらゆる映像信号を4K解像度・50Hz/60Hzまでアップスケーリングして出力することが可能です。

アドバンスト・ピクチャー・コントロール機能

UDP-205は画質調整機能を搭載しています。輝度、コントラスト、色相、彩度(色の濃さ)、シャープネスの調整により、接続するホームシアター機器の制約を補完することも、お好みに合わせて調整することも可能です。

4K60Pの高フレームレート出力に対応

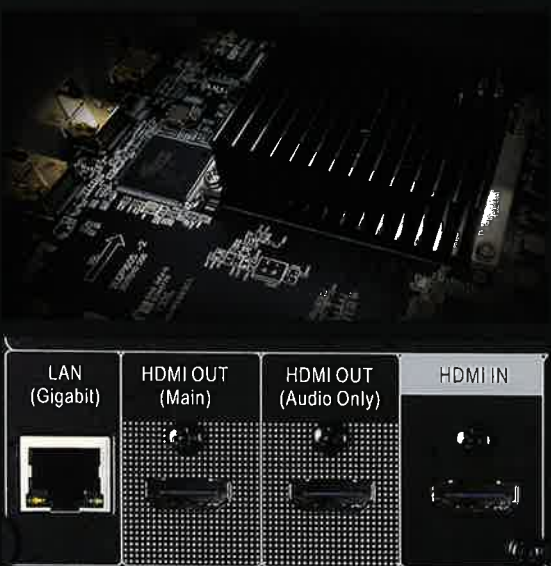
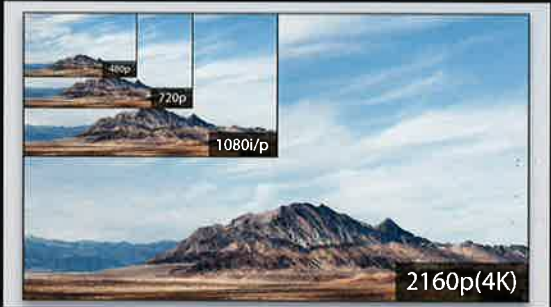
UDP-205はフレームレート 4K@60P、4K@50P、4K@30P、4K@24Pを含む全てのSD、HD、UHD解像度に対応しており、PC RGB、Video RGB、YCbCr 4:4:4/4:2:2/4:2:0、の各カラー・スペースに対応します。

UDP-205専用に開発されたメインボード

OPPO Digital史上最高の性能を実現すべく開発されたUDP-205は、初の試みとしてメインボードについても妥協を排した専用設計基板を採用しました。更なる低ノイズ化、高品質化を目指して開発されたメインボードは、回路パターンの徹底的な改良とHDMIオーディオ・ジッター・リダクションサーキット(後述)搭載により、UDP-203を上回る映像品質と圧倒的な音声品質を実現しています。これにより、UDP-205はHDMI接続においても、フラッグシップモデルにふさわしい史上最高画質・音質による比類なき映像体験をお届けします。

映像／音声の分離出力が可能な2系統HDMI出力端子

UDP-205は2系統のHDMI出力端子を搭載。HDMI 2.0に対応する映像・音声出力用メイン端子と、HDMI 1.4に対応する音声出力専用端子を搭載しています。HDMI 2.0対応端子は最新のUHD規格対応ディスプレイやプロジェクター、AVアンプとの接続を想定し、HDMI 1.4対応端子は旧来のAVアンプと接続することを想定しています。4KおよびHDR対応のAVアンプとの組み合わせでHDMI 2.0対応端子のみを使うことも、HDMI 2.0対応端子を映像機器に、HDMI 1.4対応端子をAVアンプに、という組み合わせでA/V分離出力をすることも可能です。



LAN (Gigabit)	HDMI OUT (Main)	HDMI OUT (Audio Only)	HDMI IN

アドバンスト・オーディオ・プロセッシング・テクノロジー

最高レベルの再生パフォーマンスを目指して。ESS Technology社の最新世代フラッグシップDACチップ「ES9038PRO」を2基搭載

UDP-205はステレオ・アナログ音声出力およびマルチチャンネル・アナログ音声出力にそれぞれ独立したESS Technology社の最新鋭DACチップ「ES9038PRO」を採用しています。ES9038PROはESS SABRE PROシリーズのフラッグシップ製品で、32ビットHyperStream2テクノロジーを採用した最高級D/Aコンバーター・製品用のDACチップです。140dB以上のダイナミックレンジを誇るES9038PROは、最先端のオーディオ体験を実現する新たなベンチマークとして誕生しました。

HDMIオーディオ・ジッター・リダクション・サーキット搭載

UDP-205は高安定性かつ高精度なHDMI専用発振器を搭載するだけでなく、独自に開発したHDMIオーディオ・ジッター・リダクション・サーキットを搭載しています。このユニークな回路は音声出力専用HDMI出力部に配置されており、HDMI経由で出力される音声信号のジッターを大幅に減少させるとともに、タイミング・エラーを除去することができます。これにより、音声出力専用HDMI端子を経由するビットストリーム音声やPCM・DSDデータなどあらゆるオーディオ信号の音質が向上し、映像作品だけでなく音楽鑑賞時にAVレシーバーやHDMI入力を持つ音響機器と接続した場合の再生品質をも大きく改善することに成功しました。

32bit/768kHz PCM、22.6MHz DSDに対応するUSB入力端子を搭載

UDP-205に搭載された最新世代のXMOSS搭載USBインターフェース回路はアシンクロナス(非同期)伝送モードに対応しており、最大32bit/768kHzのステレオPCMデータのほか、ネイティブ方式で最大22.6MHz (DSD512)のステレオDSDデータの再生に対応するなど、将来を見据えた最高スペックのハイレゾ音源の再生に対応しています。また、Macとの接続でも、DoP方式で最大11.2MHz (DSD256)までのDSD音源の再生に対応します。

XLRバランス出力端子を搭載

UDP-205のステレオ音声出力には、XLRバランス出力端子およびRCAシングルエンド出力端子が搭載されています。ES9038PROを専用に割り当てたステレオ音声出力回路部は、チップのみならずバッファ段およびドライブ段も本製品のために開発されたものが搭載されています。また、バランス出力はDAC回路部からの差動出力をダイレクトに伝送することが可能なうえ、コモンモードノイズを低減させて信号品質を改善することができるため、特にバランス入力対応のアンプをお使いのお客様に最適です。

内蔵ヘッドホンアンプ回路でヘッドホンも強力に駆動

UDP-205はヘッドホンリスニングの点でもユニークな製品です。UDP-205はヘッドホンアンプ部を内蔵しており、ヘッドホンやイヤホンに直接接続して音楽を楽しむことができます。ヘッドホンアンプ部はES9038PROの出力からダイレクトに接続されており、一般的なヘッドホンアンプ製品と比べても性能上の利点を有します。また、回路設計という点においても、従来製品に内蔵されていたヘッドホンアンプ部から進化しており、より高い出力レベルと性能を実現しました。

ハイレゾ対応のマルチチャンネル再生機能

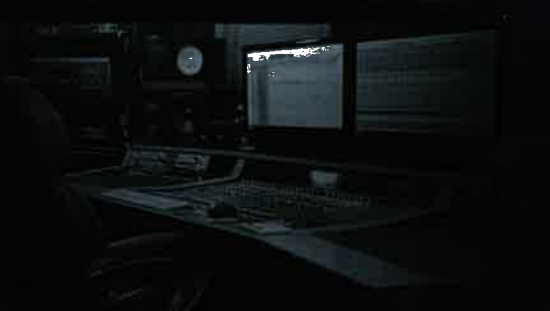
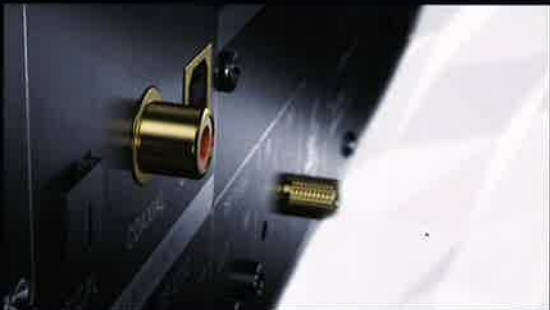
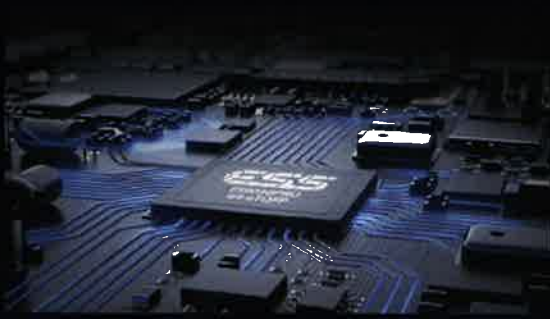
UDP-205の優れた映像品質と高い互換性は、ロスレス・フォーマットを含めたハイレゾ音源のサポートによりさらに完成されたものとなっています。USBメモリやネットワーク経由でのファイル再生機能を使うことで、マルチチャンネルの24bit/192kHzまでのAIFF、WAV、ALAC、APE、FLACといった各種ロスレスPCMフォーマットの再生に対応するほか、マルチチャンネルの1bit/5.6MHz (DSD128)までのDSDフォーマットの再生にも対応します。(5.6MHz DSDについてはPCM変換再生のみとなります。)

最新の音声サラウンド・フォーマットに対応

UDP-205はDolby TrueHD、DTS-HD Master Audioのフルデコードに対応するほか、Dolby AtmosやDTS:Xといったオブジェクト・ベースのイマーシブ・オーディオ・フォーマットのパススルー出力にも対応します。頭上のサウンド・エフェクトを加えることで、音場の3次元的な再生に偉大な効果をもたらします。(これらの新フォーマットの再生には対応AVレシーバーが必要です。)

7.1chアナログ音声出力搭載

UDP-205は7.1chのアナログ音声出力を搭載しており、HDMIをサポートしていない従来のAVアンプやプリアンプ等をお使いの方でも、7.1chまたは5.1chのサラウンドシステムに接続することが可能です。UDP-205はES9038PROをサラウンド専用に搭載することで、これまでにない広大な音場と没入感のあるサラウンド体験をもたらします。また、7.1chのアナログ音声出力は設定によりステレオダウンミックス・モードまたはZone2のオーディオソースとしてご利用いただけます。



更なる高品質設計と定評ある高速動作

振動対策を徹底したダブルレイヤー・レイフォースド・シャーシ・ストラクチャー

UDP-205のフロントパネルはヘアライン仕上げのアルミニウム合金を採用したほか、OPPO Digitalのユニバーサル・プレーヤーの開発で培われた高剛性スチール・シャーシを使用しています。UDP-205はBDP-105D Japan Limitedの設計コンセプトである筐体の高剛性化、低重心化、耐振動対策という開発思想を踏襲することで、更なる高性能化を目指しました。

UDP-205で採用された「ダブルレイヤー・レイフォースド・ストラクチャー」は、筐体を二重構造化することで振動しにくい構造とするだけでなく、ドライブメカの取り付け位置を低く抑えることで全体の低重心化をすすめることで、振動そのものが生じにくい構造となっています。また、フット部にもOPPO Digital初となる金属製インシュレーターを採用するなど、振動対策を徹底しています。

100V対応トroidalコア・トランス採用のオーディオ専用電源回路

UDP-205はデジタル回路用とアナログオーディオ回路用に電源部を分割し、ノイズの影響を低減する設計となっています。パフォーマンスを最大限に引き出すため、強力なトroidalコア・トランスを採用した専用電源部からアナログオーディオ回路部にクリーンで安定した電源を供給します。また、日本仕様のUDP-205は特に100V・50Hz/60Hzという日本の環境向けに設計された専用トランスを搭載しています。

静粛性を実現したファンレス設計

UDP-205は安全に空気の流れを促進し重要なコンポーネントを自然冷却することができるよう、慎重に内部のレイアウトとシャーシ構造の設計がなされています。入念に配置されたヒートシンクと放熱口によって、UDP-205は内部ファンまたは外部ファンを必要とせず、低い温度と静粛性を保ったまま動作させることが可能です。熱設計にあたっては多くのストレステストが行われており、長期間に渡っての高い信頼性を実現しています。

ハイプレジジョン・ディスクローダー・メカニズム

UDP-205は高精度短波長レーザーを用いたカスタムメイドのハイプレジジョン・ディスクローダー・メカニズムを採用。このメカは、あらゆる光学ディスク・メディアの再生において極めて高速かつ安定した再生を実現するために、特別なチューニングを施したものです。高速な読み取りだけでなく、強力なエラー検知・訂正機能を持ち、安定したメディア再生が可能です。

安心の長期保証

日本仕様のUDP-205は安心の3年保証。末永くお使いいただけます。(3年保証の適用を受けるには、ユーザー登録が必要です。ユーザー登録がない場合には2年保証となります)

機能比較表(UDP-203／UDP-205)

UDP-205はUDP-203をベースとしながらも、すべてを新規設計したOPPO Digitalの新たなフラッグシップUHD BDプレーヤーとして誕生しました。UDP-205は映像回路や音声回路だけでなく、電源部や筐体に至るまで徹底した拘りのもとに生まれたUHD Blu-rayの新世代リファレンス機です。

機 能	UDP-203	UDP-205
7.1ch アナログ出力	● (AKM AK4458VN DAC)	● (ESS ES9038PRO DAC)
ステレオ アナログ出力	7.1ch出力兼用	専用 XLR / RCA 出力 (ESS ES9038PRO DAC)
HDMIオーディオ・ジッター・リダクション・サーキット	—	●
USB DAC ・ 同軸/光デジタル入力	—	●
内蔵ヘッドホンアンプ	—	●
トroidalコア・トランス電源	—	●
ダブルレイヤー・レイフォースド・シャーシ	—	●



あらゆるメディアの再生を実現するユニバーサリティ

多彩な対応ディスク・メディア

UDP-205は高品位な再生品質にとどまらず、あらゆるディスク・メディアやファイル・フォーマットとの高い互換性にも注力した製品です。最新のUHD Blu-rayディスクに加え、従来のBlu-rayディスク、Blu-ray 3Dディスク、DVD-Videoといった映像ディスクメディアのほか、DVD-Audio、SACD、CDといった音楽ディスクメディアもフルサポートします。

USBによるファイル再生機能

UDP-205は前面にUSB 2.0ポートを1基、背面にUSB 3.0ポートを2基搭載しており、映像、音楽、画像などをUSBメモリまたはハードディスクから読み込むことができます。最大16TBまでの容量のUSBメモリ／ハードディスクの接続に対応します。

ホーム・ネットワーク接続機能

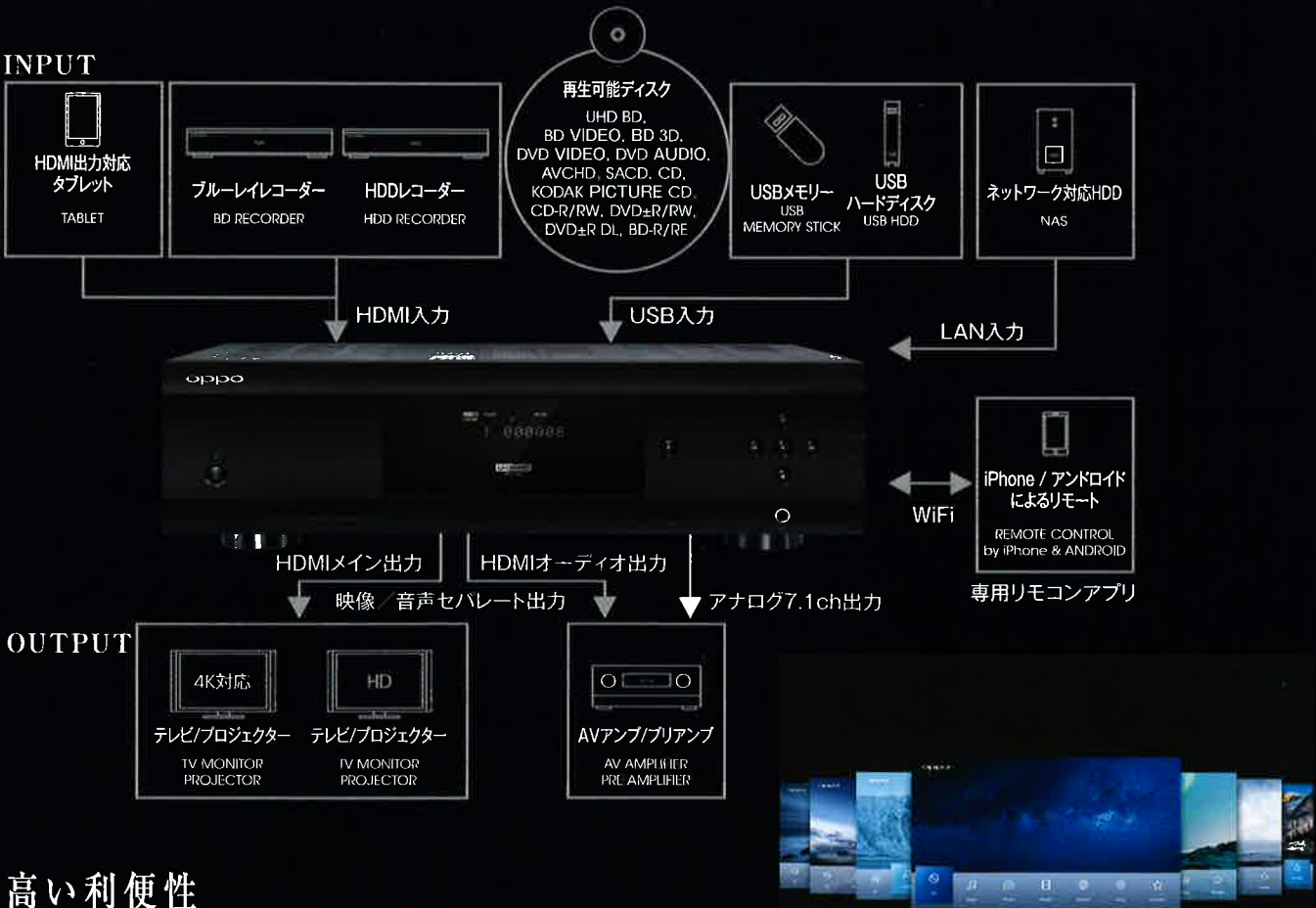
UDP-205は802.11acに対応するWi-Fi機能(TELEC認証済)を搭載するほかギガビットイーサネット端子を搭載。ホーム・ネットワークに接続することで、DLNA方式またはSMB方式で、コンピューターやNASに保存されたメディアファイルを簡単に再生することができます。

DTCP-IP&CPRM対応 [日本向け正規輸入品限定]

地デジ等を録画したデータをホームネットワーク経由で視聴するにはDTCP-IP対応が必要です。UDP-205はDTCP-IPに対応するだけでなく、DVDレコーダー等でCPRMを用いて作成された「コピー・ワンス」のDVD-Rディスクの再生も可能です。また、日本のマーケット事情に合わせ、AACのパススルー出力やモノラル二カ国語音声に対応しています。

HDMI 2.0入力端子

UDP-205のHDMI 2.0入力端子はUHD解像度をサポートし、外部のストリーミング機器やレコーダーとの接続を想定しています。HDMI入力端子を搭載することにより、オーナーが目まぐるしく変化するストリーミング・サービスや対応機器に柔軟に対応することを可能にする一方で、UDP-203の優れた映像・音声品質をストリーミング・サービスでも活用することが可能です。



高い利便性

簡単なシステム・インテグレーション

UDP-205はRS-232コントロール端子や背面のIRセンサー、サードパーティのIPコントロール、HDMI CECに対応しています。また、トリガーイン／アウト端子も搭載し、電源オン／オフの連動が可能のため、あらゆるホームシアターへのシステム・インテグレーションが簡単です。また、同軸デジタル端子および光デジタル端子を搭載し、従来のオーディオ機器と接続してお楽しみいただけます。

新ユーザー・インターフェース採用でさらに便利に

新規にデザインされた高解像度のユーザー・インターフェースは圧倒的に操作しやすく、メディアやネットワーク、ストレージへのアクセスが簡単に行えます。

ファームウェアのアップデート機能搭載

いつでも最新の環境でお楽しみいただくため、ファームウェアのオンラインアップデートに対応。インターネット接続環境があればいつでも最新のファームウェアにアップデートすることができます。加えて、USBメモリ経由、データディスク経由のアップデートにも対応します。